

141.

- 10) DE TONI, J. B. (1891-1894) *Sylloge algarum omnium hucusque cognitarum*, 2. Bacillarieae. Patavii.
- 11) VANLANDINGHAM, S. L. (1971) *Catalogue of the fossil and recent genera and species of diatoms and their synonyms*. 4. Lehre.
- 12) SKVORTZOW, B. V. (1938) Subaerial diatoms from Pin-chiang-sheng province, Manchoukuo. *Philippine J. Sci.* **65**(3): 263-277.
- 13) 小林 弘 (1964) 荒川産珪藻類 (2). 秩父自然科学博物館研究報告 **1964**(12): 65-77.

□ Verne Grant: **Organismic Evolution**. i-xii+418pp. W.H. Freeman and Company, San Francisco, 1977. (邦貨にして約5,700円)

本書は、著者 GRANT 教授が1952年以来、学生、院生を対象に行った講義内容を取りまとめたものであり、生物に生じる進化的変化の過程と、その過程に及んでくる基本的な要因について書かれている。本書の主題は、大きく3つ—小進化、種分化、大進化—に分かれており、これらの主題をふまえて、人類の進化の問題、進化学の社会的意味が言及されている。また著者自身が断っているように、本書はあくまで進化の原理について論じられているので、進化の詳細な実例は少い。この点に関して不満のもたれる方は、GRANT 教授の著した名著、「The Origin of Adaptations」, Columbia Univ. Press., 1963. (約9,000円): 「Plant Speciation」, Columbia Univ. Press., 1971. (約9,000円): 「Genetics of Flowering Plants」, Columbia Univ. Press., 1975. (約7,400円) を読んでいただきたい。本書、「Organismic Evolution」ともども、これらの本に展開されている生物の種と進化に関する GRANT 教授の見解は、多くの植物学者から、また Mayr 等、種の研究を活発に行っている動物学者からも高く評価されている。彼の種に関する見解から、私達は、生物学的種概念をあらゆる生物に教条的に、機械的に適用していく考えの誤謬を学びとることができる。

なお、GRANT 教授は、現在、テキサス大学の教授で、高等植物の遺伝学、種生物学の分野で偉大な業績をのこしている著名な研究者である。特に *Gilia* 属 (ハナシノブ科) における種間の生殖的な連関についての研究は、藻類の種の研究者としてまだ若輩である私にとって、研究上、非常によい指針となっている。

(渡辺 信・東大・応微研)